

平成31年度 数学科 2学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点	評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
1	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算</li> <li>・文字式の利用</li> </ul>	数学的な技能	文字を用いた式で表現したり、その意味を読み取ったり、簡単な整式の加法や減法の計算をしたり、単項式の乗法や除法の計算をしたり、簡単な式の変形をしたりするなどの技能を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式の加法や減法の計算、多項式と数の乗法や除法の計算ができる。</li> <li>・単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。</li> <li>・式を計算してから数を代入して、式の値を求めることができる。</li> <li>・等式を変形して、ある文字について解くことができる。</li> </ul>
	連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式とその解き方</li> <li>・連立方程式の利用</li> </ul>	数学的な技能	簡単な連立2元1次方程式を解いたりするなどの技能を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式を、加減法、代入法を用いて解くことができる。</li> <li>・<math>A=B=C</math>の形をした連立方程式を解くことができる。</li> </ul>
	1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数</li> <li>・1次関数と方程式</li> <li>・1次関数の利用</li> </ul>	数学的な技能	1次関数の関係を、表、式、グラフを用いて的確に表現したり、数学的に処理したり、2元1次方程式を関数関係を表す式とみてグラフに表したりするなどの技能を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数の関係を式に表すことができる。</li> <li>・1次関数のグラフを、切片や傾きをもとにかくことができる。</li> <li>・グラフから1次関数を求めることができる。</li> <li>・2元1次方程式のグラフをかくことができる。</li> <li>・2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標を、連立方程式を解いて求めることができる。</li> </ul>
2	平行と合同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の仕組み</li> <li>・平行線と角</li> <li>・合同な図形</li> </ul>	数学的な見方や考え方	平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などについての基礎的・基本的な知識や技能を活用して、論理的に考察し表現するなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。</li> <li>・三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えることができる。</li> <li>・証明の根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。</li> </ul>
	三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形</li> <li>・平行四辺形</li> </ul>	数量や図形についての知識・理解	三角形と四角形についての性質などを理解し、知識を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義と定理の意味を理解している。</li> <li>・二等辺三角形、正三角形、平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の定義と性質を理解している。</li> <li>・直角三角形の合同条件を理解している。</li> <li>・底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。</li> </ul>
3	確率	確率	数学的な技能	起こりうる場合を順序よく整理して、簡単な場合について確率を求めるなどの技能を身に付けている。	授業観察 小テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数回の実験の結果をもとにして、確率を求めることができる。</li> <li>・起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。</li> <li>・あることがらの起こらない確率を求めることができる。</li> </ul>